

埼玉県内企業の海外展開につ

埼玉県内企業を対象に海外展開についてのアンケート調査を実施した。結果は以下の通りである。

✓ 海外拠点の設置状況

海外における生産や販売拠点など事業所の設置状況については、「すでに設置している」15.4%、「設置していないが、今後設置したい」1.8%、「今後検討したい」4.2%、「設置は考えていない」78.6%となった。

業種別にみると、製造業では「すでに設置している」が30.5%と3割の企業ですでに海外拠点を有している。個別業種で「すでに設置している」とするところが多いのは、「一般機械」50.0%、「金属製品」42.9%、「化学」40.0%、「鉄鋼・非鉄金属」、「紙・紙加工品」とともに37.5%、「電気機械」、「輸送機械」とともに35.3%などであった。

一方、非製造業では「すでに設置している」が5.5%、「設置していないが、今後設置したい」2.0%、「今後検討したい」3.0%に対して、「設置は考えていない」が89.6%となった。非製造業では、需要が国内中心のところが多く、海外展開については「考えていない」とするところがほとんどである。

● 海外での生産・販売拠点などの設置状況

単位:%

	全産業	製造業	非製造業
すでに設置している	15.4	30.5	5.5
設置していないが、今後設置したい	1.8	1.5	2.0
今後検討したい	4.2	6.1	3.0
設置は考えていない	78.6	61.8	89.6

✓ 海外展開を行う理由

海外拠点の「設置は考えていない」を除く企業に、海外展開を行う理由(複数回答)を聞いたところ、「海外の需要増に対応する海外市場開拓」57.4%、「国内の需要減に対応する海外市場開拓」50.0%、「人件費関連のコストダウン」26.5%、「海外進出した取引先からの受注確保」23.5%、「親会社の海外進出

への追随」11.8%、「為替レート変動への対応」、「エネルギー関連のコストダウン」、「法人税対策」それぞれ2.9%となった。今後人口減少などで国内市場の縮小が懸念されるなか、拡大が期待される海外市場への進出でカバーしたいとする企業が多い。

業種別では製造業で、「人件費関連のコストダウン」「海外進出した取引先からの受注確保」が非製造業に比べて多く、非製造業では「国内の需要減に対応する海外市場開拓」が製造業に比べ多かった。

● 海外展開を行う理由

単位:%

	全産業	製造業	非製造業
海外の需要増に対応する海外市場開拓	57.4	57.4	57.1
国内の需要減に対応する海外市場開拓	50.0	44.7	61.9
人件費関連のコストダウン	26.5	31.9	14.3
海外進出した取引先からの受注確保	23.5	29.8	9.5
親会社の海外進出への追随	11.8	10.6	14.3
為替レート変動への対応	2.9	2.1	4.8
エネルギー関連のコストダウン	2.9	2.1	4.8
法人税対策	2.9	0.0	9.5

海外展開を行う理由(複数回答)を「すでに設置している」とした企業と「設置していないが、今後設置したい、今後検討したい(以下、設置したい等)」とした企業の別にみると、「すでに設置している」とした企業では、「海外の需要増に対応する海外市場開拓」51.0%、「国内の需要減に対応する海外市場開拓」49.0%、「人件費関連のコストダウン」32.7%などとなった。「設置したい等」とした企業では「海外の需要

● 海外展開を行う理由(設置している、設置したい等別)

単位:%

	全体	設置している	設置したい等
海外の需要増に対応する海外市場開拓	57.4	51.0	73.7
国内の需要減に対応する海外市場開拓	50.0	49.0	52.6
人件費関連のコストダウン	26.5	32.7	10.5
海外進出した取引先からの受注確保	23.5	28.6	10.5
親会社の海外進出への追随	11.8	12.2	10.5
為替レート変動への対応	2.9	2.0	5.3
エネルギー関連のコストダウン	2.9	0.0	10.5
法人税対策	2.9	0.0	10.5

増に対応する海外市場開拓」73.7%、「国内の需要減に対応する海外市場開拓」52.6%などとなった。「設置したい等」とした企業で、「海外の需要増に対応する海外需要開拓」、「国内の需要減に対応する海外市場開拓」が「すでに設置している」とした企業に比べ多かった。

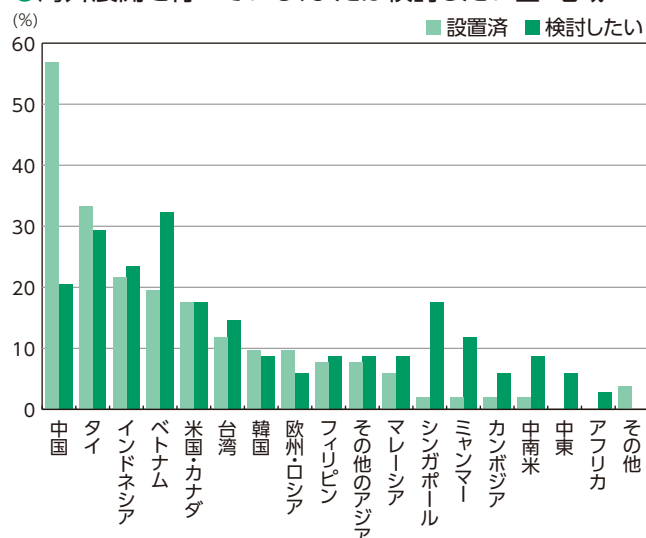
✓ 海外展開を行っている、または検討したい国・地域

海外展開をすでに行っている国・地域（複数回答）については、「中国」が最も多く56.9%、次いで「タイ」33.3%、「インドネシア」21.6%、「ベトナム」19.6%、「米国・カナダ」17.6%、「台湾」11.8%などとなった。

展開を検討したい国・地域（複数回答）は「ベトナム」32.4%が最も多く、次いで「タイ」29.4%、「インドネシア」23.5%、「中国」20.6%などが多く、アジア各国が上位を占めた。

すでに拠点を設けている国としては、中国が多いが、検討したいとするところでは他のアジアの国も多くなっている。米中貿易摩擦や最近の中国情勢への懸念もあり、中国以外への生産拠点分散や今後の成長を期待して、他のアジア諸国への展開を考える企業が多くなっている。

● 海外展開を行っている、または検討したい国・地域



✓ 海外展開にあたっての問題点

海外展開にあたっての問題点（複数回答）としては、「現地での人材確保」が最も多く52.0%、次いで「現地の情報不足、人脈不足」34.3%、「現地での品質、生産管理」27.5%、「現地での労務管理」25.5%、「政情不安、社会不安」23.5%、「商習慣の相違」20.6%、「文化、習慣の相違」15.7%などとなった。現地での人材確保や情報不足、人脈不足を懸念するところが多い。

業種別では、製造業で「現地での品質、生産管理」が非製造業に比べ多く、非製造業では「現地の情報不足、人脈不足」が製造業に比べ多かった。

● 海外展開にあたっての問題点

単位: %

	全産業	製造業	非製造業
現地での人材確保	52.0	55.4	45.9
現地の情報不足、人脈不足	34.3	26.2	48.6
現地での品質、生産管理	27.5	36.9	10.8
現地での労務管理	25.5	26.2	24.3
政情不安、社会不安	23.5	24.6	21.6
商習慣の相違	20.6	12.3	35.1
文化、習慣の相違	15.7	13.8	18.9
資金調達	13.7	15.4	10.8
インフラの不安	13.7	16.9	8.1
税制の相違	10.8	12.3	8.1

✓ 最近の中国情勢の影響

最近の中国情勢の影響について、中国に事業所を設置している、または、設置していた企業に聞いたところ、「大きな影響がある」33.3%、「やや影響がある」40.0%、「影響はあまりない」26.7%となった。7割以上の企業で「影響がある」としている。（吉嶺暢嗣）

● 最近の中国情勢の影響

単位: %

	全産業	製造業	非製造業
大きな影響がある	33.3	36.0	20.0
やや影響がある	40.0	36.0	60.0
影響はあまりない	26.7	28.0	20.0

2021年10月実施。対象企業数1,025社、回答企業数332社、回答率32.4%。